

広報 ごじょうめ

発行 五城目町役場 電話 01885 ② 2100 (代)
018-17
秋田県五城目町高崎字雀館下川原64の4
編集 文書広報課
印刷 湖東印刷所 電話 01885 ② 2430
毎月1日・15日発行 一部 35円



飛入りで きねを振る子供もいて うすのまわりは大にぎわい

冬は友だち ～ 心身を鍛える機会に ～

駐車場パンク寸前

二月二十一日、恋地開設スキー場で「第五回子どもの雪まつり」が行われた。
当日の駐車場には、乗用車三五〇台、バス十一台の乗り入れがあり、パンク寸前の状態であった。この数からして、参加者は二千七百人はこえたものとみられている。

とりどりのプログラムの中で人気のあったものは、雪上車、馬そり、綱引、餅つきなどであったが、地元恋地地区の民生委員や町内会のみなさんご協力できた豚汗、甘酒、そして六〇キロの餅は、寒さの中の空きっ腹にたちまち平らげられてしまった。地元の人たちの心の温かさが、子どもたちの五臓六腑(ぶ)に染み入ったことだろう。いつもながらのご協力に、いくら感謝しても感謝し切れないものを感じる。

厳しい冬をとらえて

子どもの雪まつりは、一言でいえば雪国の子どもたちが、冬と友だちになれるようにという加賀谷町長の発想が起因している。そこから培われるものは数え切れないが、冬季節における体力づくり、遊びから得る子どもたちの生活ルール、そして何よりも、厳しい自然に対して取り組んでいこうとする心身の鍛錬を、子どもときから養っていきたいとするのが大きいネライだ。

手製のワックスで

冬にも遊びはいろいろあるが、スキー、スケートはその昔から子どもたちの独壇場であった。スキーの場合滑る技術の巧拙はともかく、滑る距離の長さ、ミニジャンプの着地点の長さを競い合ったものである。現在のように立派なスキー場もなく、杉小立の間を縫って滑るのが普通で、油断をすると立木と正面衝突、スキーも折れるが手足も折れる危険性があった。乱暴な滑り方であったが、そのコースを滑りこまないことには、仲間に入れてもらうことができなかったのである。今のような満載飾のスキーウェアもなく、ワックスはローソクを缶詰の空き缶に溶かしこんだものであった。

ほしい自分たちの遊び

今の子どもたちは、子ども育成会や学校のスキー大会など、大人の管理監督のもとでなければ存分に遊べない傾向が非常に強い。
本来子どもたちの遊びに、大人たちが口を入れないのがルールであった。子どもたちが勝手に集まり、遊び場を決め、勝負を競い合うのが子どもの世界の魅力でもあった。子どもの雪まつりが、その導火線の役を果たしてくれば幸いだ。

杉沢診療所で十八年

石川さんに医療功労賞

困難な環境のもとで、長年にわたり医療業務に従事し、人知れぬご苦労を重ねてこられた人たちに贈られる「医療功労賞」（読売新聞社主催、厚生省など後援）の受賞者に、杉沢へき地出張診療所の石川キミさん（五六歳・雀館）が選ばれました。秋田県からは石川さんを含めて二人だけの受賞で、一月三十日、秋田市のホテルで表彰式が行われました。

石川さんは町から嘱託として任命され現在、杉沢へき地出張診療所で看護婦として働いています。杉沢に診療所が開設されたのは昭和三十八年十月。以来十八年間、地域の医療活動ひと筋につくしてきました。

昭和二十二年に助産婦の資格、二十七年には看護婦の免許を取得しており、三十三年に住民にこられるままに杉沢で助産婦業を開業しました。分娩の取り扱いには二百五十件もあり、また地域保健活動のよき相談相手としても活躍してきました。

受賞の感想について「ただ自分の生活のために仕事をしてきただけだから、功労賞といわれても」と言うだけでしたが、最初にとりあげた赤ちゃんの名前はちゃんと覚えていました。昭和三十一年六月、たまたま杉沢の実家に来ていた石川さんは、頼まれるのを断わりきれず、最初の仕事をしたそうです。



表彰状を手に喜びの石川さん

その時の子供はすでに二十五歳になっており、秋田市で自動車整備員としてがんばっているそうです。母親は「急に産気づきました、石川さんのおかげで助かりました。今でもありがたかったと思っています」と話していました。

石川さんは、診療所勤務をすめられたとき「二人の子供がいるから」と断ったそうですが、その娘さんたちは保母さんとして、大学生としてついに成長しています。子育ての中で、看護婦、助産婦として昼夜の別ない仕事を務めあげてきた石川さんにとって、長年の苦労が報われる晴れの受賞となったに違いありません。

県スポーツ賞

佐藤さん功労賞に輝く

秋田県スポーツ賞の受賞式は、二月二十六日、秋田市の県児童会館ホールで行われ、佐藤勝太郎さん（七五歳・仲町）に功労賞が贈られました。また、猿田充君（五城目高校・上樋口）、椎名彦春さん



佐藤勝太郎

（富田）、椎名千代実さん（富田）は栄光賞を受賞しました。県スポーツ賞は県内各スポーツ界で活躍した団体、個人に贈られ

五城目算簡の草創と変遷

石井 金之助

製材業の産業革命

明治四十一年に、五城目木材株式会社が生産機械で丸鋸（まるのこ）製材を始めたのを皮切りに、四十余軒の材木屋が続々と機械製材に切り替えた。

これはまさしく製材界の産業革命であり、これまで肩で風をきり、

るもので、二月十日に県体育協会から発表されています。それによると、功労賞五人、栄光賞は個人三十一人、十七団体となっています。

佐藤勝太郎さんは県柔道連盟役員を長年勤め、昭和五十五年から同連盟会長の要職にありま。今回の受賞は長年にわたり県柔道連盟の役員として、企画運営に参画したほか、後進の指導にあたり、本県柔道の振興に寄与したことが認められたものです。

十六歳で柔道を始めた佐藤さんは、現在県内で最高位の八段。「若い時はいろいろとがんで張りました」というだけあって、数々の大会に出場し、輝かしい成績を残しています。大正十二年に全国中学校柔道で団体優勝しているほか、昭和四年と九年には県代表として御前試合に出場しました。

鼻先を赤くして闊歩（かっぱ）し威張っておった五百余名の木挽（こびき）たちは大恐慌をきたし、不穏の形勢もあった由である。明治



の末ころには、木挽たちは半分に減り、時の町長米田貞治は、失業者を指物（さしもの）業に転換させるべく勧奨したり、開墾や土木

せてくれたのでしょう」と語る佐藤さんですが、県柔道界の第一人者として、今後も活躍が期待されています。

水泳協会を結成

会長に秋山さんを選任

五城目町水泳協会が結成され、三月十七日午前六時半から屋内温水プールで、第一回総会が開かれます。

同協会は、町民の体位向上と水泳技術の普及に努め、水泳人口の拡大に寄与することを目的にしており、事務所は屋内温水プールにおかれます。主な事業は、水泳思想の啓発と実践指導、会員主催による記録会や大会などの開催、その他本会の目的達成に必要な事項

事業を興したりした。

指物山神講中

明治四十三年二月十二日記帳の指物業者の山神講中帳によると、会員は渡辺西蔵、斉藤政太郎、和田喜代治、近藤三蔵、栗山竹蔵、石井敬蔵、三村倉吉、北島連之助、菅沢梅蔵、石田米之助、渡辺兵治、小森金次郎、貝田定吉の十三名が加盟しており、毎月輪番で講をつとめ、一ヶ月の掛金が一人金五銭であった。

明治四十四年には米田町長の斡旋（あつせん）で、菅沢梅蔵は秋田県から委嘱されて、産業視察員として指物業の先進地を視察した。

となっています。現在、会員は二十二人。二月十四日に開かれた結成会議で、次の方々が協会の役員に決まりました。

- ▽会長 秋山 三男
- ▽副会長 石井昭一郎
- ▽計 渡部 日出
- ▽事務局長 伊藤彦磨呂
- ▽幹 事 小黒隆一 目黒 洋 館岡和広 小玉 博 加藤 巖

水泳協会では新会員を募集しています。加入希望の方は、屋内温水プール（☎244-1）へ電話などで申し込んでください。また、三月十七日の総会終了後午後七時半から水泳講習会を計画していますので、多数の参加をお願いします。

町有普通財産の公売

▲土地▼

このたび次の町有普通財産（土地）を公売処分することになりました。購入希望者は次の現地説明および一般競争入札に参加するようになしてください。

▽処分する物件

（土地）—新町・川端付近—

①五城目町字上町二二九

雑種地 三一七㎡〇〇

②字上町二二一の一

雑種地 二二五㎡〇〇

③字上町二三四

宅地 二〇一㎡六五

④字上町二三五の三

宅地 七〇㎡三五

⑤字上町二三七

雑種地 二三五㎡〇〇

（以上物件を一区画として入札）

▽入札参加者の資格

個人もしくは法人

（ただし地方自治法施行令第一六七条の四に該当する者は除く）

▽処分物件の現地説明

三月十七日 午後一時三十分

役場前集合

▽入札開札日時および場所

三月十八日午後三時入札即開札

五城目町役場第一会議室

▽入札無効について

入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札および五城目町財務規則に違反した入札は無効とする

▽入札保証金 百分の五の額

▽契約保証金 百分の十の額

▽その他

契約後に合筆するようにします。くわしい内容については五城目町役場管財課（電話2100）におたずねください

「希望の鐘」の十二支

私は正月二日に息子の車に乗せてもらい、森山の頂上に登りました。梵鐘（ぼんしょう）をつき、その音に何か今年はいいことのあるような感じがしました。

突き終って疑問に思ったことがあります。あの大きな梵鐘に子、丑、寅と十二支が刻まれていたが、何を意味するものでしょうか。だれに聞いても確かなことを知る人もなく、不思議に思っています。（主婦 小玉生）



この十二支には二つの意味が込められています。その一つは方位

した山形県の渡辺市郎さんは「十二支を刻んだ鐘は、全国でも例がないと思います」と話しており、希望の鐘の特徴でもあります。

方位を示す

を示していることです。

森山山頂の梵鐘は「希望の鐘」と命名されており、浅見内出身の松橋福蔵ご夫妻が、郷土の平和と町内のみなさんの幸せを願って町に寄贈したものです。希望の鐘の十二支は、松橋さんの希望で刻まれました。鐘を鋳造

現在はあまり使われませんが、昔は十二支で方角を表わしていました。北から右回りに子（ね）、丑（うし）、寅（とら）と一回りするようになっています。ですから北が子、東が卯（う）、南が午（うま）、西が酉（とり）と

県内の最低賃金

一日 二千七百十円

秋田県内の事業場および労働者に適用される最低賃金は次のとおりです。すべての事業主はこの最低賃金額以上の賃金を支払わなければ、労働者を使用することができません。もし違反した場合は、最低賃金法により罰せられますので必ず守ってください。

▽秋田県最低賃金

一日 二、七二〇円

（二時間 三三九円）

▽産業別最低賃金

・食料品製造業

一日 三、〇一九円

（二時間 三七八円）

ただし、雇入れ後六カ月未満の者にについては

一日 二、七九五円

（二時間 三五〇円）

・繊維産業

一日 二、八九三円

（二時間 三六二円）

①雇入れ後六カ月未満の技能習得中の者

②清掃、片付けその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者については

一日 二、七三一元

（二時間 三四二円）

・木材・木製品・家具・装備品製造業

一日 三、一五一元

（二時間 三九四円）

①卸売業、自動車小売業

一日 三、一七三円

（二時間 三九七円）

②清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八五四円

（二時間 三五七円）

・出版・印刷・同関連産業

（速記・筆耕・複写業を含む）

一日 三、〇二八円

（二時間 三七九円）

①雇入れ後六カ月未満の技能習得中の者

②清掃、片付けその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者については

一日 二、七八〇円

（二時間 三四八円）

・機械・金属製品等製造業および自動車整備業（機械修理業、かじ業を含む）

一日 三、一八七円

（二時間 三九九円）

①雇入れ後六カ月未満の技能習得中の者

②電気部品の組立てまたは加工の業務のうち、主として卓上において行う組線、巻線、はんだ付け、取付けまたは検査の業務に主として従事する者

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

・卸売業・小売業（飲食店を除く）

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

③清掃、片付けその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

①卸売業、自動車小売業

一日 三、一七三円

（二時間 三九七円）

②清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

①卸売業、自動車小売業

一日 三、一七三円

（二時間 三九七円）

②清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

③清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

④清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

⑤清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

⑥清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

⑦清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

⑧清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

⑨清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

⑩清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

⑪清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

（二時間 三五六円）

⑫清掃、片付けその他これに準ずる軽易な業務に主として従事するものについては

一日 二、八四七円

水泳バッチテスト

一級に小学生二人が合格

第三回水泳バッチテストは、一級から六級まで四十九人の受験者が参加して、二月十四日、屋内温水プールで行われた。

今回、初めて一級合格者がでたが、二人とも小学生であった。その一人、伊藤恭二君は富津内小学校の六年生で、百メートルは自



伊藤恭二



伊藤磨美

由型一分二秒二、平泳ぎ一分四秒八、背泳ぎ一分三秒〇。もう一人は五城目小学校六年の伊藤磨美さんで、女生徒ながら自由型一分二秒〇、平泳ぎ一分四秒五、背泳ぎ一分三秒四という好タイムであった。

また、十五人が二級に合格し、年々町内のレベルが向上していることを示していた。

五城目町水泳バッチテスト合格者

- ・一級 関 冬樹 伊藤 仁未
- ・二級 伊藤 守 伊藤 孝人

- 加藤由深子 本間 健一
- 石井 雅樹 伊藤 純子
- 菅生 公洋 石井由紀也
- 児玉奈央子 播磨 芳紀
- 工藤 茂晃 伊藤 崇
- 大倉 章子 鎌田美和子
- 伊藤 史子

- ・五級 小玉 成孝 伊藤 直紀
- 伊藤 一司 小玉 努
- ・四級 伊藤 真理
- 伊藤 貴子 浅田 平大
- 伊藤 博樹 伊藤 正則
- 伊藤 敦 伊藤 忠
- 近江 昌紀 伊藤 孝志
- 小玉たかゆき 渡部 一成
- 草皆 憲一 伊藤美代子
- 伊藤 公子 伊藤 勝子
- 近江るり子 小原 隆一
- 石井昭一朗

- ・三級 伊藤 貴子 永尾可奈子
- 伊藤 博樹 伊藤 正則
- 伊藤 敦 伊藤 忠
- 近江 昌紀 伊藤 孝志
- 小玉たかゆき 渡部 一成
- 草皆 憲一 伊藤美代子
- 伊藤 公子 伊藤 勝子
- 近江るり子 小原 隆一
- 石井昭一朗

- ・二級 伊藤 貴子 永尾可奈子
- 伊藤 博樹 伊藤 正則
- 伊藤 敦 伊藤 忠
- 近江 昌紀 伊藤 孝志
- 小玉たかゆき 渡部 一成
- 草皆 憲一 伊藤美代子
- 伊藤 公子 伊藤 勝子
- 近江るり子 小原 隆一
- 石井昭一朗

- ・一級 伊藤 磨美 伊藤 恭二

全町スキー大会

二月十一日 恋地国設スキー場

▽大回転

・小学校の部

- 1 三浦 修 (五城目)
- 2 佐々木浩二 (杉沢)
- 3 伊藤 晋 (五城目)
- 4 松橋 孝幸 (内川)
- 5 佐々木貴仁 (杉沢)
- 6 佐々木重人 (〃)

- 1 佐々木悦雄 (杉沢)
- 2 築地 龍志 (五城目)
- 3 佐々木成孝 (杉沢)
- 4 荒川 滋 (五城目)
- 5 工藤 弘幸 (内川)
- 6 河内 信彦 (五城目)

・青年の部

- 1 佐々木公生
- 2 小玉 久俊
- 3 小玉 久浩

・成年の部

- 1 佐藤 幸男
- 2 齊藤喜美雄
- 3 石川 孝志

・壮年の部

- 1 小玉 忠夫
- 2 伊藤 英紀
- 3 佐々木照雄

・成年の部

- 1 齊藤喜美雄
- 2 佐藤 幸男
- 3 石川 孝志

・壮年の部

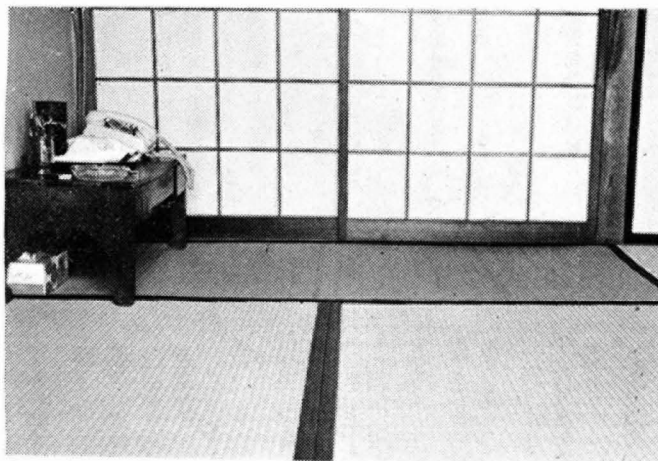
- 1 佐々木照雄
- 2 小玉 忠夫
- 3 猿田 正一

県総合卓球大会

五一中の猿田が優勝

二月七日・秋田県立体育館

- ・中学男子準決勝 猿田 尚 2-0 畠山 (五一中) (羽城中)



タタミの表替えと障子のはり替えをした大川小の用務員室

職人さんが無料奉仕

学校を訪れ建物を修理

秋田技能社(代表・中村成人)の人たちが、五城目幼稚園、大川小学校、内川小学校、杉沢小中学校を訪れ、建物のいたんでいるところを無料で修理し、生徒や学校関係者から感謝されています。この人たちは比較的仕事の少ない二月に、約二週間かけて無料奉仕を行ったものです。

秋田技能社は板金、左官、畳、建具、電気工事の仕事をしている人たちが組織されており、いろいろなところを直してくれました。窓、戸、壁の補修や電気器具の修理のほか、寄宿舎や用務員室の畳の表替えや障子・ふすまのはり替え・校舎の屋根のふき替えも行われました。金額に換算するとさうとうの額になるそうですが、代表の中村さんは「今の学校は目がいきとどいていて、思ったより楽でした」と話していました。

工藤 実 2-0 近江 (五一中) (大曲中)

同決勝 猿田 2 2121 1510 0 工藤 (五一中) (五一中)

町内対抗卓球大会

一月三十一日・広域体育館

- 優勝 蓬内 台
- 準優勝 岩 野
- 三位 浅見 内
- 四位 中川 原
- 五位 中村 畑
- 平ノ下 田

ふるさとの川に流すな
有リン洗剤
川や湖を汚さないで



スキーバッチテスト合格者
二月十四日・恋地国設スキー場

▽一級 畠山 厚(落合)
▽二級 猿田 利彦(上樋口)
佐々木悦雄(恋地)
▽三級 石川 重光(杉沢)

温水プールの休館
三月八日～十一日
屋内温水プールは機械整備のため、三月八日から十一日まで休館。

広報文芸



昭和五十六年度 五城目町文学作品

俳句部門優秀作品

▽入選

「鰯雲」

伊藤 芳穂(町村)

子に託す夢やひろがる鰯雲
雪を割る路地のはのぼりと土匂う
夏草の一条踏まれ樵木みち
廃村は民話を残し夏果てぬ
吊し柿茜炎えたり納屋廂

「夏ごろも」

斎藤 マサ(畑町)

短夜や針置く刻の明鴉
針穴に糸先それる五月かな
仕立をへ仕付に汗をおそれけり
夏ごろも仕上げ針娘の膝崩す
紬着て若葉の下を通り行く

▽佳作

「早饗会」

本間 艶子(館越)

朝風に種振るごとし櫻花
朱鷺色の猫のあくびや田植どき
夕暮れて山影背負う田植かな
荒縄の百足競走早饗会
万緑の水面にとけてダム鎮まる

「遠蛙」

大島つむぎ(長町)

姪れる娘に鯉を打つ春夕
花冷えの付き添う椅子や一つきり
早苗田の水に落せり病舎の灯
引く水の田に星の降り遠蛙
蛙田闊引き寄せて夜学の灯

「雛」

佐藤 羊村(小倉)

雛飾る雛の気品に庄され居て
雛飾る去年の記憶をたどりつつ
雛の囁の物言う如く朝日差し
雛の頃の灯下の子らを親しめり
さよならと言葉を洩らしぬ雛納

▽俳句部門作品評

石沢 洗尽(選者)

一人五句ずつの投句であるので、珠玉の一句を抽出する方式よりも、総合的なレベルの高いと思うものから、入選・佳作を採り上げさせてもらった。(全部で十四名・七十句)。つまりムラのない作者の力量を言うことにしたのである。

入選第一席の「鰯雲」の作者は、実に多様な情感を秘めている。親として子にたくす夢の切実さに配するに、無限にひろがる鰯雲の色彩は素晴らしい感覚の表徴であるし、雪を割る路地や樵みちの現実的写生は手堅い。納屋廂に燃える柿の描写は、生き生きとした感動の美をたたえている。

入選第二席の「夏ごろも」を縫う針娘を詠んだ連作五句にも心を引かれた。五月の清明な薫風季節感とよくマッチした表現が良い。

佳作の第一席「早饗会」は誠に自在な表現態度で、かなり年期的に入った巧者と見受けられるが、荒縄の百足競争の郷土性、とき色の猫のあくびなど、田植季の緑の風との対照を示すなど凡庸な技ではない。ただ「さなぶり」は正式には「早苗饗」また「早苗振」と書くことを知って欲しい。

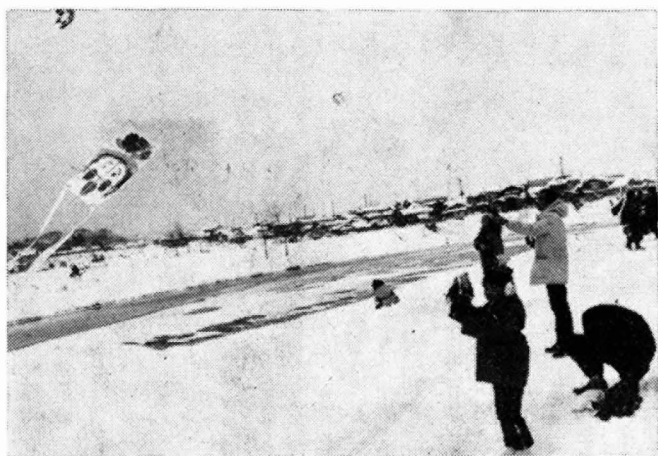
佳作第二席の「遠蛙」五句は、あまり欠点のない通俗的な作風である。淡々とした素直な表現力に共感をもって採ったのである。

佳作第三席の「雛」を詠んだ連作も面白くこなしているが、言葉の使い方の研究が今一歩である。「庄され居て」「たどりつつ」「物云々如く」。「言葉」を洩らしぬ」などいづれも散文調に近い。俳句は韻文学であることを第一義的に頭に入れて欲しい。さすればもっと一句の持ち味の内容に深みが出てくる筈である。

カメラリポート

PTA活動を話し合う

父兄など150人が参加



川端会館の前でさっそくタコ上げを楽しむ

タコを贈られて大喜び

川端会館のお年寄りがプレゼント

二月七日、川端会館のお年寄りたちが、自分たちの作った風を町内の子供たちにプレゼントしました。風は七十五枚用意されましたが、集まった子供たちは百人以上もいました。当日もらえなかった子供たちへは、後日、風が贈られました。

このプレゼント会は、川端会館のお年寄りたちが、孫とおじいさん、おばあさんとのふれあいを深めようと計画したもので、プレゼントの対象は保育所から小学二年生まで。川端会館の佐藤久之助さんは「プレゼント会場の川端会館へは、おじいさん、おばあさんと来るようにとお願ひしてあったのですが、半分以上はお父さん、お母さんといっしょでした」と少し残念そうでした。

しかし、風を贈られた子供たちは大喜びで、さっそく風上げを楽しんでいました。

第十三回五城目町PTA研究会は、一月二十四日午前九時四十分から町民センターで、町内保育所、保育園、幼稚園の保護者や小中学校のPTA会員など、約百五十人が参加して行われました。

「子供の幸福と健全育成をはかるため、地域におけるPTA活動をどのようにすすめたいか」を研究主題として、午前中は分散会が開かれました。保育園などの保護者、小学校PTA、中学校PTAごとに行われた分散会では、学校長などの助言を混えながら、それぞれのテーマに従って話し合いました。

午後から全体会があり、各分散会の報告の後、秋田市・なかよし幼稚園長の菊地了氏氏が、「子供の幸福と健全育成について」と題して、約一時間半の講演を行いました。



保育所・幼稚園などの関係者による第一分散会

▽三月・卒業式
十四日 五城目第一中学校
十五日 杉沢・富津内小中学校
十九日 五城目・馬場目・内川・大川小学校



【おしらせ】

固定資産課税台帳の縦覧および

固定資産税の納期

固定資産課税台帳の縦覧

固定資産課税台帳の縦覧は、毎年三月一日から三月二十日まで縦覧に供してきています。しかし、昭和五十七年度課税分の縦覧については、評価替えなどにより固定

資産税の負担調整率の改定案が決定するまで縦覧に供することができないことから（国会審議中）昭和五十七年度分の課税台帳の縦覧に限り四月一日から四月二十日までとします。

固定資産税（都市計画税含む）の納期

固定資産税の納期は、町税賦課徴収条例によって実施されていますが、課税台帳縦覧が四月一日から四月二十日までとする関係から昭和五十七年度に限り、第一期の納期を五月一日から五月三十一日までとします。

土地改良事業

換地計画書の縦覧

土地改良事業の換地計画書を縦覧しています。

縦覧している書類

- ①土地改良事業（鳴ヶ崎地区）換地計画書の写し
- ②土地改良事業（岩城地区）

新里町 町営住宅の入居者募集

申込みは二十日までに

町では町営住宅に一戸あけ渡し家屋がでたので、次の内容で入居者を募集しています。申込用紙の請求、募集内容の問合せは役場建設課（電話21

- 〇〇へお願いします。
- ▽住宅の場所 新里町
- ▽種別規格 第二種木造平家建
- ▽家賃 月額 二万円
- ▽募集戸数 一戸
- ▽受付期間 三月五日～三月二十日
- ▽入居予定 四月一日

換地計画書の写し

縦覧期間

二月二十二日～三月十六日

縦覧場所 役場農村整備課

献血にご協力を

三月八日・町内五カ所

三月八日（月）午前九時五十分から、献血車が町内五カ所を巡回して献血をお願いします。

献血者には、県と町から記念品を差しあげます。献血手帳を持っている方は、当日持参してください。献血車の巡回場所と時間は次のとおりです。

・役場前

午前九時五十分～十時三十分

・農協前

午前十一時二十分～十一時五十分

・新谷菓子店前

午後一時～一時三十分

・秋田相互銀行駐車場

午後一時五十分～二時二十分

・営林署前

午後二時四十分～三時三十分

献血すると：

①血液型（ABO式、RH式）がわかります

②血液の比重（血液の濃さ）や血圧がわかります

③肝臓機能の状態がわかります

④梅毒検査の結果がわかります

⑤HBS抗原（血清肝炎の原因）の検査結果がわかります

⑥コレステロールの量や総たん白量などの六項目の生化学検査も行います

③④⑤⑥の検査の結果、異常値があれば本人あて封書で通知します。

誕生

おめでとう

ございます



黒土	石井真由子	1、21
久保	春美 美穂子	1、25
新里町	勇一 鈴子	1、27
今町	次夫 千鶴子	2、4
利則	福嶋 翔子	2、4
高樋	伊藤 隼人	2、4
帝釈寺	恒久 ワカ子	2、5
畑町	博 順子	2、7
樋口	啓治 貞子	2、11
猿田麻都香		

小川口	俊彦 幸子	2、12	十二日	猿田 裕果 0	樋口
新町	政英 請子	2、12	十三日	小玉 勇吉 67	小川口
雀館	時彦 圭子	2、15	十五日	箱岡 キノ 73	上高崎
充	望 祐子	2、15	十五日	小玉カネノ 75	雀館
			二十日	伊藤ミツサ 81	大川二区
			二十日	斎藤 久祐 54	箱岡
			二十日	阿部 豊蔵 78	富田
			二十五日	浅野良太郎 65	希望ヶ丘
			二十八日	加藤敬之助 81	野田
			二十八日	小林テツエ 71	古川町
			三十日	佐藤 ソノ 77	大川三区
			三月		
			三日	佐川善之助 82	野田
			七日	島山 学 3	広ヶ野
			十一日	荒川 一雄 54	下山内
			十一日	渡邊 悦郎 56	築地町
			十三日	佐川 秋蔵 76	畑町
			十六日	山口 サン 75	築地町
			十九日	分銅 キミ 83	紀久栄町
			十九日	小熊 琢代 75	西野
			二十日	笹岡 ナツ 77	新町

ママさんバレーボール クラブ会員募集

ママさんバレーボールクラブでは会員を募集しています。

ママさんバレーボールは気軽な仲間づくりと体力づくりができるスポーツです。また、会員になりますと、全県あるいは南秋ママさんバレーボール大会に参加できます。

▽練習日 毎週水曜日 午後六時～

▽申し込み方法

電話で次のところへお願いします。

- ・伊藤信子 ②3737（勤務）
- ・五城目町公民館 ②9748（自宅）
- ②4415



三月

秋田県テレビ広報番組

▽ABS秋田放送

テレビ県民室

午後5時～5時15分

7日 働く高齢者を囲んで
14日 私たちの特産林産物

▽AKT秋田テレビ

県政の広場

午後5時15～5時30分

6日 木材、木製品の流通拡大対策

13日 コミュニティカレッジで豊かな学習を

20日 県政第一線ただ今奮闘中

27日 県政報告

～3月の県政から～